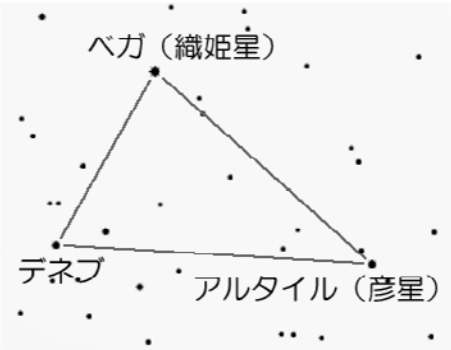
夏休み自由研究

「空の暗さを調べてみよう」

夏の晴れた夜、空高く輝く「夏の大三角」の中に、星がいくつ見えるか数えてみよう。
場所や日時を変えて何回も観察し、見える星の数はどんな条件によって変化するか考えよう。



夏の大三角

● 観察のヒント。

・観察する日数は多いほうが良いです。何度も観察したほうが、発見がありそう…
・日没後１時間以上たってからでないと、空が十分暗くなりません。
・晴れていても空が白っぽく見える時は、空がかすんでいます。
・月の形や、月の出・月の入りの時刻は、毎日変わります。

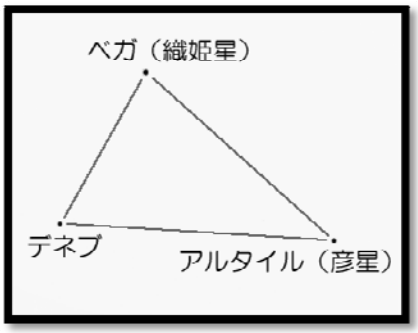
● 観察の記録を表にまとめよう。

観察日時	観察場所	空の状態*	月明かり**	星の数***

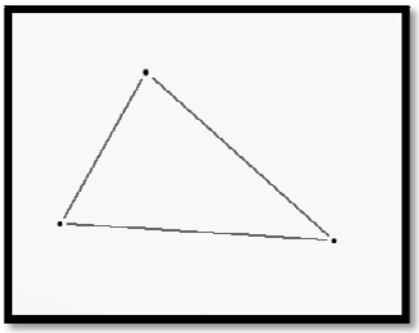
*　空がかすんでいるかどうか、うす雲があるかどうか、日没前にチェックしてみよう。
**　月が見えているか、（見えた場合）どんな形をしているか。
*** 天の川が見えたかどうかも、記録しておこう。
星を数える代わりに、うらの絵と見比べて何等星まで見えたか記録してもＯＫ。

● 観察結果をまとめて発表しよう。
星が多く見えるのは、どんな条件の時だろう？
自分の観察結果をまとめた表を見ながら考えてみよう。

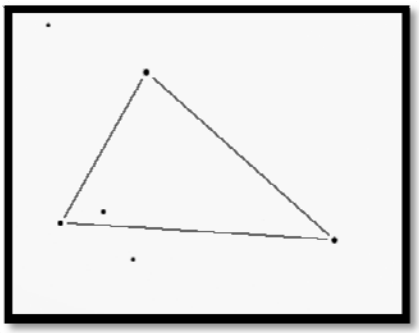
夏の大三角の見え方



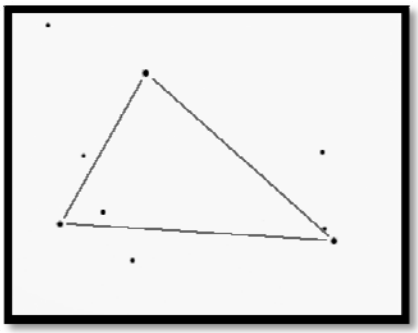
1.5等星まで



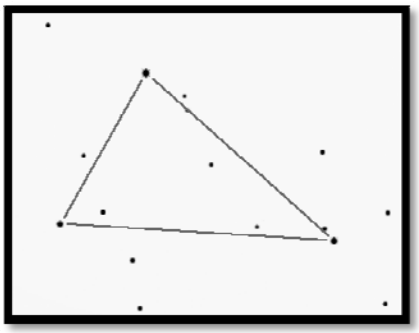
2.0等星まで



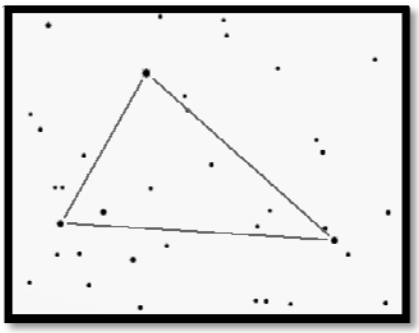
2.5等星まで



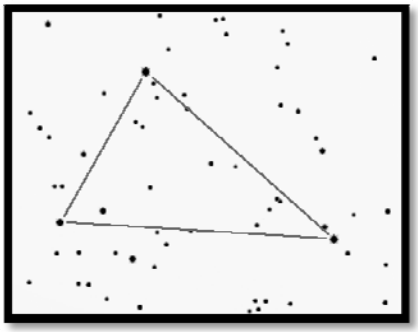
3.0等星まで



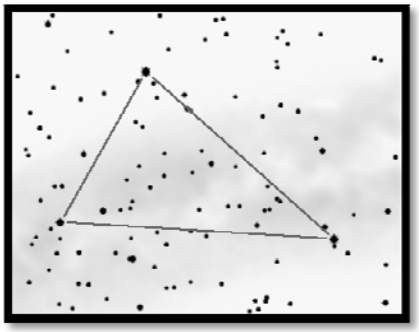
3.5等星まで



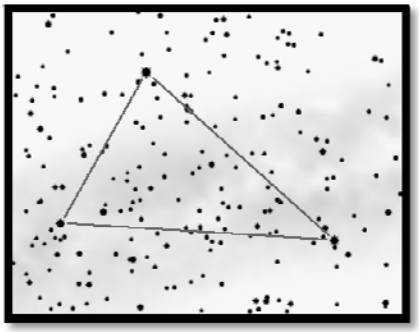
4.0等星まで



4.5等星まで



5.0等星まで



5.5等星まで

夏の大三角は、夜８時ころ、東の空の高い所～天頂付近に見えます。
観察する時、双眼鏡や望遠鏡は必要ありません。

★ ぐんま天文台の天体観望会に参加してみよう。

晴れていれば午後７時から１０時まで、望遠鏡を使って星の観察ができます。
天体観望会は、毎週金・土・日曜日、祝日のほか、8月7日から16日までの毎日と、
8月26日に行います。予約は要りません。

GUNMA ASTRONOMICAL OBSERVATORY
県立ぐんま天文台